

2024 年産における水稲高温耐性品種の作付状況

記録的な夏の高温が毎年続くなか、水稲では高温にあっても玄米品質「白未熟粒の発生」や収量が低下しにくい高温耐性品種の作付けが拡大している。2024 年産米（うるち玄米）の全国平均の1等比率は75.9%に対して、高温耐性品種では80.2%と一般品種よりも高い値を示している。

農林水産省の調べでは、2024 年の高温耐性品種の作付けは、前年産から3県増加の42 府県（北海道、岩手県、東京都、奈良県、沖縄県を除く）から作付けの報告があり、全国の作付面積は206,457haと20 万 ha を超え、2020 年の152,324ha の1.36 倍に増えている。その結果、全国の主食用米の作付面積に占める高温耐性品種の作付割合は2015 年の6.2%から2020

年の11.2%、そして2024 年には16.4%へと毎年拡大を続けている。

表-1に、高温耐性品種の作付割合の高い上位15の府県を示した。トップは佐賀県で「さがびより」、「夢しずく」、「にじのきらめき」の作付けが56.3%と過半を超えている。次いで、長崎県47.4%、福井県46.1%、島根県44.7%と4割台を占めている。

表-2に、作付面積の多い高温耐性品種を示した。最も多い品種は「きぬむすめ」の22,980ha（島根県、岡山県、鳥取県）、次いで「こしいぶき」の18,400ha（新潟県）、「つや姫」の17,966ha（山形県、宮城県、島根県）、「とちぎの星」の12,017ha、「ふさこがね」の11,400haと続いている。（K.O）

表-1 主食用米に占める高温耐性品種の都道府県作付面積割合（%）

府県	割合	主な高温耐性品種名
佐賀	56.3	さがびより、夢しずく、にじのきらめき
長崎	47.4	なつほのか、にこまる、つや姫
福井	46.1	ハナエチゼン、あきさかり、いちほまれ
島根	44.7	きぬむすめ、つや姫
鳥取	39.3	きぬむすめ、星空舞
和歌山	35.4	きぬむすめ、にじのきらめき、にこまる、つや姫
石川	33.8	ゆめみづほ、ひやくまん穀
静岡	33.0	きぬむすめ、にこまる、にじのきらめき
千葉	32.7	ふさこがね、ふさおとめ
徳島	30.4	あきさかり、ハナエチゼン、にじのきらめき
山形	30.0	つや姫、雪若丸
新潟	29.1	こしいぶき、新之助、ゆきん子舞、にじのきらめき
香川	27.8	あきさかり、おいでまい、にこまる、にじのきらめき
埼玉	26.2	彩のきずな、えみほころ
富山	26.1	てんたかく、富富富、てんこもり
全国	16.4	

表-2 高温耐性品種の作付面積（ha）

品種名	作付面積	作付け上位3都道府県
きぬむすめ	22,980	島根、岡山、鳥取
こしいぶき	18,400	新潟
つや姫	17,996	山形、宮城、島根
とちぎの星	12,017	栃木
ふさこがね	11,400	千葉
あきさかり	9,170	広島、徳島、福井
にこまる	8,242	長崎、岡山、愛媛
彩のきずな	7,400	埼玉
さがびより	6,760	佐賀
元気づくし	6,360	福岡
ハナエチゼン	6,335	福井、徳島
なつほのか	6,207	大分、長崎、鹿児島
はれわたり	6,044	青森
にじのきらめき	5,602	茨城、静岡、新潟
雪若丸	5,550	山形
全国計	206,457	